

小学部3年 生活単元学習学習指導案

日 時：令和6年9月24日（火）10：40～11：25

場 所：小学部3年1組教室、3年2組教室

児 童：男子10名 計10名

指導者：松井祐美子T1、藤田千穂T2、鈴木やよいT3
藤原文子T4、佐々木一穂T5

1 単元名 わくわく探検隊 はなびだどーん②

2 児童と単元

(1) 児童について

3年生男子10名の学習グループである。自分の気持ちを簡単な文章で表現する児童が4名、単語や喃語、指差して表現する児童が4名、発声や表情で表現する児童が2名である。身振りや発声等、自分なりの方法で気持ちを表現する。

「一緒にやろう」と友達を誘ったり、誘いを受け入れたりして友達同士の関わりが見られる。友達の様子を見て、自分もやってみようとしたり、まねしたりする姿が見られてきた。

繰り返し活動を行うことで、見通しをもち自分から活動に向かうことができる。また、新しい方法にも試行錯誤したり挑戦しようとしたりする姿も増えてきた。

(2) 単元について

昨年度から「わくわく探検隊」として、校内探検や農業科学館への校外学習等を行っている。身近な人や場所について、見たり聞いたりしたことを話したり、ジオラマで表現したりと意欲的に取り組んだ。今年度も、「わくわく探検隊」を継続し、テーマを「花火」とし、学習を展開している。花火は、地域の祭りで上がったり、七夕花火会に参加したり、児童にとって身近なものでイメージしやすく、色や光、音等様々な感覚で楽しむことができる。

前単元「はなびだどーん①」では、はなび・アムへ校外学習に行き、花火のイメージを膨らませ、体験したことを基に「はなびシアター」を製作した。色の重なりや光などを「きれい」「面白い」と感じたり、花火の音の迫力や掛け声を楽しんだりした。製作を進めていく中で、自分でライトに当てて試したり、友達のやり方をまねしたりすることで「こうすればいいかな」とやってみる姿も見られた。そして、夏祭りの出店や大川西根小学校との交流で発表し、色々な人に見てもらうことで、達成感を味わった。

本単元では、秋山台祭のステージ発表に向けて、花火の形や音を身体や楽器等を使って表現する。花火のイメージに合った楽器を選び、音の出し方を工夫したり、花火の形の表し方を考えたりする中で、自分の考えを自分なりの表現方法で伝えることにつながると考える。自分や友達が考えた意見を選んだり組み合わせたりすることで、色々な意見があることが分かり、一緒に作り上げる楽しさを感じることができる。また、発表する機会を設定することで、自分の思いを伝えたり、次はもっとこうしたいと考える姿を引き出せたりできると考え、本単元を設定した。

(3) 指導について

- ・児童同士がまねしたり、意見を聞き合ったりできるように、グループ構成を工夫する。
- ・自分の考えや気持ちを表現するために、選択肢やイラスト、発表例などを提示したり、表情や発声等から気持ちを代弁したりする。
- ・活動を振り返ったり、全員で経過を共有したりできるように、ICT機器を活用する。
- ・イメージを深めたり、段階的に表現方法を広げたりするために、発問を精選する。
- ・個々の児童の発言や身振り、表情等から思いを汲み取り、グループや全体で共有する機会を設ける。
- ・自信をもって活動できるように、音楽や体育の時間に学習している内容とも関連付けたり、個々の得意な動きを引き出したりする。

3 単元の目標（育成を目指す資質・能力）

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 花火について見聞して、花火の形や音の違いが分かる。 花火のイメージに合った体の動きをしたり、音を鳴らしたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 花火の特徴を捉えた表現方法を教師や友達と共有する。 変化する花火に合わせた表現方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師や友達と一緒に表現する楽しさを味わい、自分から表現しようとする。 発表の中で、自分の役割に最後まで取り組む。

4 目標の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 花火の形や音の違い等に気付いている。 花火の形の名前や特徴を話している。 花火の音に合う楽器や鳴らし方が分かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 花火の特徴を伝えたり、花火の特徴に合った音を選んだりしている。 教師や友達の動きを見て、まねしたり、よいところを取り入れたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から身体表現をしたり、音を鳴らそうとしたりしている。 自分たちの花火を、「またやりたい」、「誰かに見せたい」と思い、伝えようとしている。 活動の流れを覚えて、自分から活動に取り組もうとしている。

5 指導計画（総時数 27 時間）

時数	主な学習活動	主な目標 <u>資質・能力</u> 【知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等】	主な評価規準 <u>観点</u> [方法] 【知=知識・技能 思=思考・判断・表現 主=主体的に学習に取り組む態度】
1	○オリエンテーション ・前単元の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 「はなびだ・どん②」の学習内容を知る。【知】 前単元で学習したことを思い出し、発表する。【知 思】 	<ul style="list-style-type: none"> 頑張ったことや楽しかったこと思い出に残っていることなどを伝えている。【知 思】 [発言]
6	○「はなび・アム」への校外学習 ・事前、事後学習 ・礼状づくり	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の利用の仕方を知る。【知】 ポイントを絞って見学する。【知】 見聞きしたことや体験したことを表現する。【思】 	<ul style="list-style-type: none"> マナーを守って見学している。【知】 見付けたことを指差しや言葉で表している。【知 思】 [活動中の姿、発言]
6 (本時 6/ 6)	○花火になってみよう 【知る】 ・参考VTRの視聴 ・楽器の音を聴く 【考える・表現する】 ・花火の形や音を体や楽器で表現する ・考えた形や音を組み合わせる	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の音を聴いて、花火のイメージに合う楽器を選ぶ。【思】 打ち上げの変化に応じて、体の動かし方や音の出し方を工夫する。【知 思 学】 友達の様子を参考にしたり、考えた音や動きを選んだりして、花火を表現する。【思 学】 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の音に興味をもったり、楽器に触れたりしている。【学】 花火の形や音の違いに気付き音の大きさ体の動きを変えている。【知 思 主】 友達の様子をまねしている。【思 主】 考えた形や音の出し方の中から選んでいる。【思 主】 [活動中の姿、発言、振り返り]
4	○発表してみよう① ・1、2年生に向けて発表 ・友達や教師からアドバイスをもらう	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが音や体の動きで表現した花火を1、2年生に発表する。【思 学】 アドバイスを聞いて、本番までに頑張ることが分かる。【学】 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが考えた花火の流れを覚えて、進んで鳴らしたり、動いたりしている。【思 主】 次に頑張ることを選んだり、話したりしている。【思】 [活動中の姿、発言、振り返り]
10	○発表してみよう② ・ステージ発表練習(グループ、通し) ・ステージ発表本番 ・ステージ発表振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割が分かり、タイミングに合わせて話したり、鳴らしたりする。【思 学】 友達と一緒に練習したり、観客の前で発表したりして、達成感を味わう。【学】 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割が分かって、発表場所に移動をしたり、手を動かしたりしている。【思 主】 大きな声や動きで発表したり、笑顔になったりしている。【思 主】 [活動中の姿、振り返り]

6 本時の計画 (27 時間中の 13 時)

(1) 本時の目標

- ・花火のイメージに合わせた形や音を表したり、友達と一緒に表現したりする。 思 学

(2) 期待する児童の姿と手立て

氏名 (性別)	実態	期待する児童の姿	
		手立て	
A (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・呼名をしたり、友達の様子を見るように言葉掛けをしたりすると、気付いて活動に向かう。 ・やりたいことや感想を、短い文章や選択肢から選んだりして伝える。 ・花火に興味をもって、打ち上がる音を擬音語で表現し、はなびシアターをライトで照らして楽しんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花火のイラストを見たり、友達の動きを参考にしたりして、自分で花火の形を手や足を使って表現したり、友達と一緒にペアになって表現したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストを見たイメージを尋ねる。 ・一人バージョンとペアになるバージョンの例を提示する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・音の出る玩具やスイッチを探すように手を動かしたり、気に入った音楽や言葉を聞くと笑顔になったりする。 ・はなびシアターでは、音響係を担当し、スピーカーから友達の声の流れると、指先でスイッチに触れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花火や友達の音を聞いて、声を出したり、花火玉を転がしたりして、花火の音を鳴らす。 ・きっかけとなる効果音を繰り返す。 ・音を鳴らせた時に、大いに称賛する。
C (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験したことや感想を言葉で伝える。 ・手本を参考にしながら製作をし、自分でイメージしたものに近付けるように色や配置等を工夫する。 ・打ち上がる花火を、声や目の動き等で表現した。はなびシアターでは、ライトアップすることを楽しみに花火作りをした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに考えた音を組み合わせたり、太鼓の音の大きさや速さなどを変えたりして花火を表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの動画を視聴したり、音を言葉にして提示したりする。 ・音の違いに気付くような発問をする。
		<ul style="list-style-type: none"> ・感触遊び的な活動や、クーピーや絵の具で色を塗る活動が好きで、夢中になって取り組む。 ・簡単な指示を理解し、口形を真似して教師に、お願いする。 ・はなびシアターでは、活動を重ねると、花火の作り方が分かり取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が表現している形をまねしたり、音や声等のきっかけに合わせてジャンプしたりする。 ・見本となる友達とのペアを工夫する。 ・得意な動きを取り入れる。
E (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な人に見てほしい思いが強く、発表等を張り切る。 ・自分でイメージして表現することができる。 ・はなびシアターでは、教師の手本を見聞きして、タイマーが鳴るまで花火を製作した。交流相手にも、花火の作り方を優しく教えていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現する花火について、体を動かしながら友達とアイデアを出し合って決めたり、友達のよかったところを発表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの花火のイラストや、パターンが違うイラストを提示する。 ・表現した動きをすぐに確認できるように、録画し視聴する場面を設ける。 ・友達のどこがよかったか具体的に尋ねたり、その動きをまねするように促したりする。

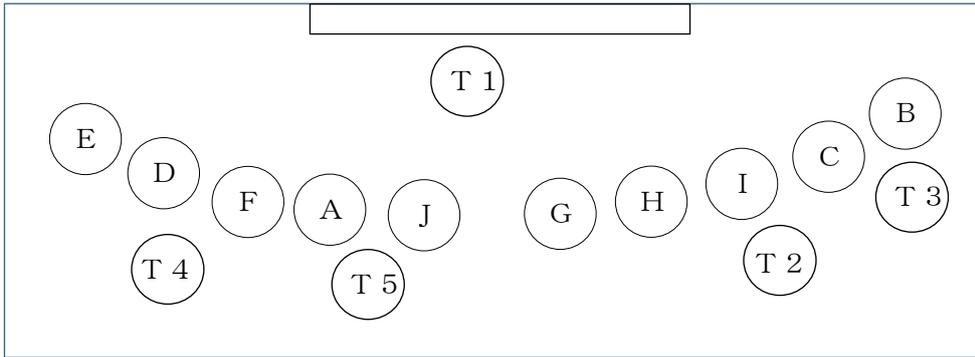
F (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関わりが好きで、見てほしい、伝えたいという思いが強く、言葉の一部を発声したり、身振りや指差しをしたりして思いを伝える。 ・細かい動作模倣は難しいが、大きな動きを模倣して楽しむ。 ・はなびシアターでは、自分で作った花火を貼ったり、ライトで照らしたりすることを楽しみに活動した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの動画を見て表現したい花火を選んで表現したり、友達の誘いを受けながら大きな花火を表現したりする。 ・前時までの動画を提示し、自分で選んで伝える場面を設定する。 ・自分の動きを確認できるように、録画し視聴する場面を設定する。
G (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しの活動や見通しをもてると、自分から進んで取り組み、見本や周りの動きを見て活動できる。 ・花火のイメージをもって、「ぱ」「ど」と発声したり、手をクルクル回したりして表現している。 ・はなびシアターでは、活動に見通しをもち、最後にライトアップすることを楽しみに、工夫して花火を作った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の手本を見たり、掛け声を聞いたりして太鼓で大きな音を鳴らしたり、連打したりする。 ・友達の動きが見えるような配置にする。 ・自分から鳴らし始めることができるように、きっかけとなる音声を流す。
H (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話を聞いて活動を進めることができ、自信がある時は挙手して発表する。 ・自分で新しいことを考えて意見を出すことは難しいが、友達の意見を聞いたりまねしたりしながら取り組む。 ・最初は自分の好きな色を中心に花火を作ったが、友達の花火を参考に色を重ねる姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の演示や友達の意見を参考にして、自分の鳴らしたい音を決め、音を組み合わせたり、工夫したことを発表したりする。 ・音（どん、ぱぱぱ、ぱらぱらなど）を文字で提示する。 ・自分で鳴らしたい音を決めて鳴らした時に、大いに称賛する。 ・発表の仕方の例を提示する。
I (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな音や声が聞こえると大きな声を出して応えたり、顔を上げて笑顔になったりする。 ・はなびシアターでは、「第〇号～」の言葉が気に入る、この言葉が聞こえると花火が始まるのが分かり、声を出して喜んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花火が打ち上がるタイミングに合わせて声を出したり、手を動かして花火玉を転がしたりして花火を表現する。 ・声が出たり楽器に触れたりしたタイミングで称賛する。 ・楽器の位置を調整する。
J (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージしたことを言葉や動きで表現したり、積極的に意見を出したりする。 ・友達にも言葉を掛けながら活動を進め、「〇〇がいいんじゃない」などの肯定的な意見を出す。 ・色の重なりを工夫しながら花火を作ったり、はなびシアターの発表では、お客さんに説明したりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィナーレの花火の特徴（たくさん、おおきいなど）を話したり、友達と一緒にできることを見付けたりして花火を表現する。 ・これまでの花火とフィナーレの花火の違いに気付くような発問をする。 ・自分の動きを確認できるように、動画で振り返る。

(3) 展開

時間	学習活動	形態	指導の上の留意点、教師の働き掛け
5分	1 本時の学習内容を知る。 2 歌を歌う。	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習に見通しをもって取り組めるように、本時の学習の流れを提示する。 ・意欲的に取り組めるように、歌を歌う場面を設け、花火に関する擬音語や身振りを取り入れる。 ・めあてに注目し、頑張ることが分かるように、めあてを全員で読む場面を設ける。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 本時のめあて：みんなのかたちやおとを あわせて はなびを うちあげよう </div>			
20分	3 花火の形の動きや音を考える。 【かたちグループ：2組教室】 A、D、E、F、J 【おとグループ：1組教室】 B、C、G、H、I	グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を思い出して組み合わせたり選んだりして花火を考えることができるように、「どんな形や音があったかな」と問い掛けたり、前時までの動きの写真や動画、楽器を提示したりする。 ・形や音、スピードの変化に関する言葉のヒントを提示したり、児童の発言を板書したりする。 ・【かたち】児童同士でペアになったり、全員で一緒に表現したりできるように、花火の打ち上がりの違いが分かるイラストや動画を提示したりする。 ・【おと】自信をもって繰り返し取り組めるように、表現した音（ドン、パパパなど）を言葉にして提示したり、即時評価したりする。 ・自分の表現した形や音を確認できるように、動画で振り返る場面を設定する。 ・友達のよいところをまねしたり、自分のアイディアとの違いに気付いたりできるように、配置を工夫したり、「〇〇さんの（形／音）を（見て／聞いて）みよう」と言葉を掛けたりする。
15分	4 グループの花火を発表する。 (1) 互いのグループの花火を見合う。 (2) 感想を発表する。 (3) 二つのグループの花火を合わせる。	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いのグループのよいところを見付けやすいように、頑張ったポイントや見てほしいことを発表する場面を設けたり、話し方の例を提示したりする。 ・みんなで一つの花火を作っていることを実感し、振り返れるように、「あわせると、どうなるかな」と発問したり、合わせた花火をタブレット端末で録画し、視聴する場面を設けたりする。
5分	5 参観者に感想を聞く。	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感を感じたり、次の発表に生かしたりできるように、参観者から感想を聞く場面を設ける。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> まとめ：みんなのかたちとおとを あわせて (おおきい、たくさん) はなびが うちあがった </div>			
	6 次時の話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・次時に期待感をもてるように、1、2年生に発表することを伝える。

※「対話的な学習活動のための手立て」及び「考えて行動するための手立て」はゴシック体で示す。

(4) 配置図



(5) 準備物

○花火のイラスト、楽器（和太鼓、リコーダーなど）、モニター、タブレット端末、動きの写真

(6) 評価規準

○花火のイメージに合わせた動きや、音の鳴らし方を考えて表現している。

○前時までに考えた動きや音などを組み合わせたり、友達の様子をまねしたりして試行錯誤して新しい方法で表現しようとしている。 [活動中の姿、発言、振り返りで評価]